

シラバス参照

科目名	薬学総合演習B
配当年次	3年次
開講期間	秋学期
単位数	1
担当教員	岩館 怜子(イワダテ レイコ) 袁 博(エン バク) 北村 雅史(キタムラ マサシ) 村田 勇(ムラタ イサム) 茂木 肇(モテキ ハジメ) 畑中 朋美(ハタナカ トモミ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 月曜日 1時限 18－101 秋学期 月曜日 1時限 18－102 秋学期 月曜日 1時限 18－103

※	
授業の目的・目標	(1) 授業の概要 薬剤師に求められる知識を総合的に身に着けるとともに、その知識に基づき、特定の医療課題の解決に向けた議論を進めます。 (2) 授業の目的 モバイル学習とグループ学習を通じて、薬剤師に必要とされる問題解決能力とコミュニケーション能力を養うことを目的とします。 (3) 修得できる力 これまで学修してきた個別の教科の知識を復習して統合することにより、個々の医療課題の解決に取り組むために必要な総合的な知識が習得できます。(知識・理解) また、グループ内で議論し、論理的に集約することにより、問題を解決する能力が身に付きます。(知識・技能・態度) (4) 授業の到達目標 薬剤師に求められる問題解決能力とコミュニケーション能力を身に着けるため、統合された知識を基盤として、協働して問題解決に当たる意義を理解することを到達目標とします。
準備学習等の指示	事前に提示された課題を解決するために必要な情報を、教科書や参考書、Web等から収集し、授業に参加すること。モバイル学習により自学自習すること。
講義スケジュール	1－2. 物理・化学・生物: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修した知識を復習し、その定着度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 3－4. 薬理: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修した知識を復習し、その定着度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 5－6. 病態・薬物治療: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修した知識を復習し、その定着度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 7－8. 衛生: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修した知識を復習し、その定着度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 9－10. 薬剤: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修した知識を復習し、その定着度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 11. まとめ: これまで復習してきた知識を統合し、その理解度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 12－13. 医療課題演習: グループ内で特定の医療課題に関する資料をまとめ、修得してきた知識に基づき、課題解決について議論し、その成果を個々にまとめる(畑中、宮本、村田) [A-(1)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)、A-(4)-1)、-2)、-3)、-4)、-5)]
教科書	第104-108回薬剤師国家試験問題 完全攻略ナビ(ファーマプロダクト)
参考文献	関連科目の教科書、参考書、Web情報等
授業の方法	薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修してきた知識を復習するとともに統合し、その理解度を小テストにより確認する。得られた知識と与えられた資料に基づき、特定の医療課題の解決に向けてグループ内で討論し、その成果を個別にまとめる
成績評価方法	試験80%、小テスト10%、医療課題演習10%、とし、学習目標の達成度に換算して評価する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー参照
居室	各教員の居室
ホームページ	
その他特記事項	学習内容はSBOsに準拠するが、学習方法は本学独自の取り組みである。
添付ファイル	

シラバス参照

科目名	薬学総合演習B
配当年次	3年次
開講期間	秋学期
単位数	1
担当教員	岩館 怜子(イワダテ レイコ) 袁 博(エン バク) 北村 雅史(キタムラ マサシ) 村田 勇(ムラタ イサム) 茂木 肇(モテキ ハジメ) 畑中 朋美(ハタナカ トモミ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 月曜日 2時限 18－101 秋学期 月曜日 2時限 18－102 秋学期 月曜日 2時限 18－103

※	
授業の目的・目標	(1) 授業の概要 薬剤師に求められる知識を総合的に身に着けるとともに、その知識に基づき、特定の医療課題の解決に向けた議論を進めます。 (2) 授業の目的 モバイル学習とグループ学習を通じて、薬剤師に必要とされる問題解決能力とコミュニケーション能力を養うことを目的とします。 (3) 修得できる力 これまで学修してきた個別の教科の知識を復習して統合することにより、個々の医療課題の解決に取り組むために必要な総合的な知識が習得できます。(知識・理解) また、グループ内で議論し、論理的に集約することにより、問題を解決する能力が身に付きます。(知識・技能・態度) (4) 授業の到達目標 薬剤師に求められる問題解決能力とコミュニケーション能力を身に着けるため、統合された知識を基盤として、協働して問題解決に当たる意義を理解することを到達目標とします。
準備学習等の指示	事前に提示された課題を解決するために必要な情報を、教科書や参考書、Web等から収集し、授業に参加すること。モバイル学習により自学自習すること。
講義スケジュール	1－2. 物理・化学・生物: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修した知識を復習し、その定着度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 3－4. 薬理: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修した知識を復習し、その定着度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 5－6. 病態・薬物治療: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修した知識を復習し、その定着度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 7－8. 衛生: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修した知識を復習し、その定着度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 9－10. 薬剤: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修した知識を復習し、その定着度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 11. まとめ: これまで復習してきた知識を統合し、その理解度を小テストにより確認する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 12－13. 医療課題演習: グループ内で特定の医療課題に関する資料をまとめ、修得してきた知識に基づき、課題解決について議論し、その成果を個々にまとめる(畑中、宮本、村田) [A-(1)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)、A-(4)-1)、-2)、-3)、-4)、-5)]
教科書	第104-108回薬剤師国家試験問題 完全攻略ナビ(ファーマプロダクト)
参考文献	関連科目の教科書、参考書、Web情報等
授業の方法	薬剤師国家試験既出問題を教材に、モバイル学習を通じて学修してきた知識を復習するとともに統合し、その理解度を小テストにより確認する。得られた知識と与えられた資料に基づき、特定の医療課題の解決に向けてグループ内で討論し、その成果を個別にまとめる
成績評価方法	試験80%、小テスト10%、医療課題演習10%、とし、学習目標の達成度に換算して評価する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー参照
居室	各教員の居室
ホームページ	
その他特記事項	学習内容はSBOsに準拠するが、学習方法は本学独自の取り組みである。
添付ファイル	